

平成 28 年度公益社団法人青森観光コンベンション協会事業計画

《基本方針》

本年は、3月26日に北海道新幹線新青森～新函館北斗間が開業となり、6月には東北の震災復興を掲げた東北六魂祭、7月～9月には「青森県・函館ゲストイネーションキャンペーン」が開催される。

当協会が推進してきた広域観光商品については、大手旅行代理店による下北半島を含めた青函周遊ツアーが発売予定となっているほか、津軽地域においても「奥津軽いまべつ駅」と「津軽中里駅」を結ぶ路線バスが運行されることとなり、今後とも青森市のハブ機能を活かした広域周遊観光のPRに努める。

インバウンドについては、政府観光局の発表により平成27年の訪日観光客が1973万人となり、2020年までに訪日観光客2000万人の目標達成が現実のものとなってきた。

本市においては、新たに中国から杭州線、天津線の就航が予定されているほか、台湾プログラムチャーター及びタイからのチャーター便も予定されている。

また、国がインバウンド対策として推進する広域観光周遊ルートに「日本の奥の院・東北探訪ルート」が認定されており、更なる外国人観光客の増加が見込まれる。

大型クルーズ客船の寄港は21回予定されており、そのうち13回が外国船籍となっている。受入対応についても今年度より新中央埠頭の改修工事が予定されており、13万トンクラスの接岸が可能になることから、更にクルーズ客船誘致に努める。

このような情勢のなか、平成28年度は観光客の増加が見込まれることから、当協会においても青森市をはじめ関係機関と一体となり、これまで磨き上げてきた各種コンテンツと交通拠点の優位性を活かし、自然や食等の青森の魅力を最大限に売り込み、国内外からの観光客誘致及び受入態勢の充実に努める。

MICE誘致については、(仮称)スポーツコンベンション推進協議会の設立に協力していくほか、韓国カーリングチーム等の合宿誘致並びに東アジア及び東南アジアからのインセンティブツアー誘致に取り組む。

冬季観光客誘致については、豊かな食文化、八甲田のスキー、樹氷などを総合的に情報発信するとともに宿泊客拡大のため企画検討を進める。

青森ねぶた祭は、観覧者及び参加者の安全安心に努めるとともに、ラッセランドテント更新について検討を進める。

青森市文化観光交流施設「ねぶたの家ワ・ラッセ」の管理運営については、ねぶた文化の伝承に努めるとともに、増加する外国人観光客受入態勢の充実と教育旅行の誘致に努める。

これらの目的を達成するため、青森県、青森市、青森商工会議所、青森県観光連盟、青森市観光振興会議等各種関係機関との連携を密にし、青森市の産業振興並びに経済発展のため各種事業に取り組む。

《公益目的事業》

I. 観光振興事業

1. 観光客誘致事業

(1) 観光キャンペーン・誘致セールス事業

青森県、青森市、青森県観光連盟、函館及び県内観光コンベンション協会と連携し、各種観光キャンペーン及び教育旅行誘致活動に参画するとともに、青森市物産協会の観光物産展を支援し青森市への誘客促進に努める。

- ①首都圏等における観光キャンペーンへの参画
- ②首都圏及び北海道からの教育旅行誘致セールス
- ③旅行社訪問及び招聘による旅行商品開発依頼及び情報収集
- ④青森市物産協会が行う観光物産展への協力
- ⑤東京青森県人会主催の青森人の祭典への参加

(2) 外国観光客誘致事業

東アジア及び東南アジアからの観光客誘致並びに外国大型クルーズ客船寄港対応及び2020東京五輪・パラリンピック開催を見据えた外国語対応の推進に努める。

- ①外国語表記の推進
- ②東アジア及び東南アジア観光客誘致セールス
- ③クルーズ客船誘致セールス
- ④各種商談会への参画

(3) 観光振興事業

北海道新幹線開業効果を最大限に享受するため青函、津軽、下北等各地域との広域連携及び青森県立美術館をはじめ各種観光施設との連携による観光商品開発に積極的に取り組む。

冬季観光活性化に向けては、ウォーターフロントを中心に青森ならではの雪の街を演出した賑わい創出と青森の食文化及び八甲田の自然、スキー、樹氷を総合的に情報発信していく。

- ①あおもり冬感動プロジェクト「灯り」と「食」の充実
- ②ウォーターフロントを中心とした賑わい創出事業の実施
- ③青森市を拠点とした津軽半島及び下北半島、道南周遊モデルコースの検討及び開発
- ④「青森県の縄文遺跡群」世界遺産をめざす会への協力
- ⑤「観光シャトル・ルートバス運行」の広報宣伝、運営協力
- ⑥「第10回津軽三味線日本一決定戦」への協力
- ⑦「第11回AOMORI春フェスティバル」への協力
- ⑧「あおもり秋まつ里」への協力
- ⑨「あおもりバル街」への協力

2. MICE誘致・支援事業

(1) MICE誘致事業

青森市での全国大会・東北大会・学会等の開催を誘致するため、首都圏における誘致活動並びに青森県内の団体関係者、大学関係者へのコンベンション開催を強く働きかける。

また、スポーツコンベンション誘致のため（仮称）スポーツコンベンション推進協議会の設立に協力していく。

- ①東北地区コンベンション推進協議会合同誘致活動への参画
- ②青森県観光連盟と共同で国際ミーティングエキスポへの出展
- ③コンベンション開催支援ガイドの作成、配布
- ④東アジア、東南アジアからのインセンティブツアーの誘致
- ⑤スポーツコンベンションの誘致促進
- ⑥韓国カーリングチーム合宿誘致

(2) MICE開催支援事業

青森県及び青森市のコンベンション開催助成金制度の申請窓口としてサポートするほか、歓迎ムードを高めるための歓迎看板や歓迎ポスターを掲示する。更に、コンベンションバッグの販売、郷土芸

能の手配、大会・学会運営に必要な備品類の貸出を行う。

- ①窓口相談によるコンベンション助成金の申請サポート
- ②新青森駅、青森駅、青森空港への歓迎看板設置及び市内商店街、飲食店、コンビニ等でのポスター掲示による歓迎ムードの醸成
- ③コンベンションバッグの作成、販売、郷土芸能の手配及びコンベンション開催に必要な備品貸出によるサポート

3. 情報発信事業

(1) 観光情報整備事業

八甲田を中心とした豊かな自然、食文化、縄文遺跡群、ねぶた祭等本市の恵まれた観光素材及び交通機関、宿泊施設、観光施設等を観光情報プラットフォームとして整備し、ホームページ、観光パンフレット及び観光PR動画による情報発信を行う。

- ①「あおもり案内名人」ホームページの運営
- ②「ねぶた祭オフィシャルサイト」の運営
- ③「Facebook」による情報発信
- ④青森市内ガイドマップ「いい旅あおもり」の作成
- ⑤飲食店ガイド「食楽青森」の作成
- ⑥観光情報データベースの更新

(2) 八甲田・十和田ゴールドライン開通フェア事業

青森の春の観光の幕開けである4月1日の八甲田・十和田ゴールドラインの開通を全国にPRする。

- ①第27回八甲田ウォーク
- ②外国人観光客受入対応の検討

(3) 食文化情報発信事業

青森の豊かな「海の幸」「山の幸」のPR強化をはかり、「七子八珍」をはじめ、「すしクーポン」、「のつけ丼」、「帆立小屋」等、食文化の情報発信に努める。

- ①食文化周知イベントの検討
- ②総合的な食文化の情報発信

(4) 観光案内所運営事業

JR青森駅前の青森市観光交流情報センターと新青森駅のあおもり観光情報センターの運営管理者として、観光客に満足していただ

るよう適切な観光案内に努める。

青森市観光交流情報センターでは、市民ボランティアと一緒に廻り案内するまち歩き「あおり街てく」事業を円滑に運営する。

①青森市観光交流情報センター（青森市指定管理者）

指定管理期間 平成25年4月1日～平成30年3月31日

②あおり観光情報センター（青森市委託）

4. 部会活動

観光振興事業を通じて観光客誘致による地域経済の活性化を促進するため、理事会が設置する部会において企画検討を行う。

①MICE 誘致部会

②冬季観光推進部会

③食文化推進部会

II. 青森ねぶた祭事業

1. 青森ねぶた祭運営事業

青森市の観光宣伝を行うとともに、地域経済及び文化振興を図るため実行委員会方式により青森ねぶた祭を開催する。

ねぶた祭の健全かつ円滑な運営のため、ねぶた祭のPRポスター、パンフレット、交通案内等のチラシの作成、運行コース・運行方法の検討及び参加団体との連絡調整、県内外の観光客受け入れに伴うトイレの設置、観光案内所の運営、ねぶた制作場所の設置、コース・歩道の清掃等を行う。また、観光客の利便性向上のため、観覧席の販売及び駐車場の貸し出しを行う。

(1) 総務委員会事業

①ポスター等による広告宣伝

②前夜祭並びに安全祈願祭・開会式の実施

③まつり本部の設置・運営

④ラッセランドの設置・運営

⑤魅力拡大のための地域全体のまつり雰囲気醸成

⑥ラッセンランドテント更新の検討

(2) 伝承育成委員会事業

- ①制作後継者によるミニねぶた・中型ねぶたの制作
- ②ねぶた囃子、金魚ねぶた制作等体験教室の実施
- ③ボランティアによるラッセランド内の無料ガイドの実施

(3) 運行委員会事業

- ①スムーズな運行方法・運行コースの検討
- ②正装ハネト推進運動の実施
- ③ハネト増加対策の実施
- ④本部役員団の検討
- ⑤吹き流し運行の継続的な検討

(4) 渉外委員会事業

- ①観光案内所設置・運営
- ②運行コース周辺の清掃美化対策の実施
- ③各種ガイドブックの製作
- ④大型バス・普通乗用車臨時駐車場、誘導看板等の設置
- ⑤観覧席設置並びに観覧者の受け入れ業務
- ⑥周辺事業所へのトイレ開放依頼並びに仮設トイレの設置

(5) 海上運行委員会事業

- ①海上運行6台の実施
- ②花火大会との演出調整
- ③海上運行台船整備の検討

2. コンテスト事業（総務委員会・審査委員会事業）

- ①ミスねぶたコンテストの開催
- ②写真コンテストの開催
- ③大型ねぶたへ各賞の設置及び授与
- ④審査方法の協議

3. 奨励・運行助成事業（伝承育成委員会事業）

- (1) 参加団体や地域運行団体への奨励金・助成金の交付
- (2) 参加団体に対する奨励額の交付

4. 青森ねぶた祭の保存伝承事業（青森ねぶた祭保存会の開催）

青森ねぶた祭の保存伝承と祭の発展に寄与することを目的として青森市及び青森ねぶた祭実行委員会に対し、意見、勧告、指導、助言、提言を行う。

開催時期 7月中旬（実施計画）

10月中旬（事業報告）

Ⅲ. 青森市文化観光交流施設管理業務（青森市指定管理者）

1. ねぶたの家ワ・ラッセ指定管理事業

青森市文化観光交流施設「ねぶたの家ワ・ラッセ」の指定管理者として、ねぶたの伝承や後継者育成、地域経済の振興を目的に、ねぶたの展示・歴史紹介やねぶたに関する体験教室等を行う。

指定管理期間 平成27年4月1日～平成32年3月31日

2. 後継者育成事業

（1）青森ねぶた祭伝承育成、後継者育成事業

- ①大型ねぶたの展示
- ②お祭り体験（囃子・ハネト・紙貼り）の実施
- ③ねぶたガイド案内の実施
- ④ねぶた関連制作教室の実施
- ⑤後継者育成用ミニねぶた、中型ねぶた制作の実施
- ⑥ねぶた囃子講習会の開催

3. 地域文化振興事業

（1）地域文化振興事業

- ①ホームページでの広報宣伝
- ②地域伝統芸能等発信事業の実施
- ③津軽笑っせ劇場への協力

（2）企画展事業

- ①四季を体感できるツリー事業の実施
- ②ねぶた下絵コンクールの実施
- ③ねぶた資料展示事業等の実施

(3) 集客対策事業

- ① 県外・観光プロモーション事業への参加による営業活動
- ② 国内外テレビ、新聞、雑誌等への取材協力による広報活動
- ③ 国内外旅行社等の視察受け入れによるPR
- ④ ベイエリア2館共通券、3館共通券の販売PR
- ⑤ 日本語、外国語パンフレットの製作配布

4. 維持管理運營業務

青森市文化観光交流施設「ねぶたの家ワ・ラッセ」の管理運営を行う。

(1) 施設維持管理業務

(2) 事務管理業務

《収益事業》

1. ねぶたの家ワ・ラッセ

(1) 貸室事業

施設内の貸室、イベントスペース貸与

(2) 駐車場運営事業

有料駐車場の管理運営

(3) テナント管理業務

お土産店・レストランの管理

- ① お土産：あおもりふるさとショップ「アイモリー」
- ② レストラン：魚っ喰いの田

2. 宿泊斡旋・紹介及び自動販売機設置事業

(1) 旅行業事業

各種旅行の提案及び宿泊斡旋業務による手数料収入を得る。

- ① 旅券等の販売業務
- ② 宿泊の斡旋業務

(2) 自動販売機設置

ねぶたの家ワ・ラッセ及び青森市観光交流情報センター利用者の
利便向上のため飲料自動販売機を設置する。

- ①ねぶたの家ワ・ラッセ
- ②青森市観光交流情報センター

3. 会員サービス及び研修等事業

(1) 会員サービス事業

組織強化のため、会員サービスを充実し、会員の維持拡大を図る。

- ①コンベンションニュースの発行
- ②ねぶたカレンダーの発行
- ③会員増強運動の推進

(2) ねぶたの家ワ・ラッセ友の会事業

- ①個人会員 年会費 2,000 円
- ②団体会員 年会費 10,000 円

(3) 職員研修・観光交流事業

職員研修及び他都市コンベンション協会との情報交換によるスキ
ルアップを図る。また、インバウンド事業促進を目的に近隣諸国と
の交流事業に参加する。

- ①東北地区コンベンション推進協議会研修への参加
- ②先進観光地の視察研修
- ③交流事業参加